

Yamato

デジタル台はかり

**DP-5601 (EDI-561)
DP-5601D (EDI-561D)**

取扱説明書



信頼・技術・創造
大和製衡株式会社

はじめに

この度は、デジタル台はかり“DP-5601 (D)”をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、デジタル台はかり（以下、本文中では本機とします）をご使用いただくためのガイドブックです。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解した上で実際にご使用くださいますようお願い致します。

また、取扱説明書の内容がいつでも確認できるよう、大切に保管してください。

本機の設計内容に関する不断の研究改良の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてご質問がございましたら、ご購入先、弊社支店、もしくは各営業所までお問い合わせください。

目次






	ページ
● 安全に正しくお使いいただくために	1～2
● 始業時点検のお願い	2
● 保管場所について	2
● 廃棄について	2
● このような機能があります	3
● ご使用前の準備	4～5
◇壁掛け用金具の取り付け方	
● 表示部及びキー操作部について	6～7
◇表示部	
◇キー操作部	
● 計量の仕方	8
● 電源オフの仕方	8
● 零点リセットの仕方	8
● 風袋引の仕方	9～10
1. ワンタッチ風袋引	
2. 置数式風袋引	
◇風袋引の取り消し方	

● コード番号入力の仕方	10
● 加算の仕方	11~12
1. 手動加算の仕方	
2-1. 自動加算の仕方	
2-2. 手動加算への戻し方	
● 減算の仕方	13
1. 直前減算の仕方	
2. 計量減算の仕方	
● 合計の仕方	14
● 登録の仕方	15~16
1. 一括登録の仕方	
2. 単独登録の仕方	
● 一括登録と単独登録の違いについて	17
● 登録データの呼び出し方	17
● 登録データのクリアの仕方	17
● 表示値の固定について.....	18
◇表示固定機能設定の仕方	
◇表示固定機能解除の仕方	
● オプション機能について	18~19
● 日付・時刻の設定の仕方	19
◇日付の設定	
◇時刻の設定	
● ユーザパラメータの設定の仕方	20
● ユーザパラメータ表	21~22
● エラー表示について	23~25
● 仕様	26~27
● 外観寸法図	28

安全に正しくお使いいただくために

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な保守が必要です。ご使用前にこの「安全に正しくお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本取扱説明書は大切に保管してください。

●表示と意味については次のように定義しています。

	危険	: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しております。
	警告	: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり財産の損害を受ける恐れがある内容を示しております。
	注意	: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品自体に損傷を与える恐れがある内容を示しております。
	禁止	: してはいけないことを表しています。
	強制	: しなければならないことを表しています。

●この製品のご使用前に以下の“危険”、“警告”、“注意”事項をよくお読みいただき、理解し遵守してください。

危険



：感電事故を避けるために

- (1) 漏電による重傷事故を避けるために必ずアース線をアースに接続してください。
- (2) 電源のコードは、足、運搬車等の車輪で踏まないようにしてください。
- (3) 指示部等ネジ止め部は、絶対に外さないでください。
- (4) 電源プラグの抜き差しは、プラグの樹脂部を持って確実に行ってください。



：爆発、引火事故を避けるために

防爆機能を備えておりません。
可燃性ガス、危険物等の存在する場所での使用は避けてください。



：火災、感電事故を避けるために

万一煙が出ている、へんな臭いがする等の異常状態で使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して購入先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

警告



：傷害、損害事故を避けるために

- (1) 計量部に被計量物を載せる場合には、荷崩れ、落下がないように載せてください。
- (2) 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (3) はかりの隙間、穴等に指を入れないでください。
- (4) 計量部のカバーを外し、内部をいじらないでください。
- (5) はかりの持ち運び、移動の際は計量部を確実に保持して行ってください。
(無理な姿勢や、はかりの指示部または支柱部を持つての持ち運び、移動は絶対にしないでください。)

注意



：本機を損傷させないために

- (1) 表示部、キー部を爪や先の尖った物で押さないでください。
- (2) 電源電圧、使用環境を遵守してください。
- (3) ひょう量以上の物を載せないでください。
- (4) 載せ台に被計量物の落下等による衝撃を与えないようにしてください。



：はかりの性能を維持させるために

- (1) 振動を発生する器具類の近くに設置しないでください。
- (2) 直射日光の当たる場所や冷暖房機の風が当たる場所には設置しないでください。
- (3) 丈夫な床、台上に設置してください。
- (4) 使用温度範囲（-10～40℃）以外では使用しないでください。
- (5) はかりは水平な状態で使用してください。
(はかりが水平でない時は調節脚で水平を確実に合わせてください。)

始業時点検のお願い

計量法では、適正な計量の実施を求められています。
始業時の点検、質量チェックの実施をお願いします。

保管場所について

- (1) 高温／多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって動作しなくなる場合があります。
- (2) 本機は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での保管は避けてください。

廃棄について

本機を廃棄する場合は、産業廃棄物（燃えないゴミ）となります。
廃棄方法については、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。

このような機能があります

DP-5601 (D) は、簡単な操作で効率的な計量作業が行えます。作業の目的に応じてお役立てください。

標準仕様のみで

目 的	方 法	備 考	ページ
風袋引 計量物又は、計量物を入れる容器の質量を0表示にしたいとき	① 風袋 キーを使って、ワンタッチで行えます。		9
	② 数字 キーと 設定完了 キーを使って設定できます。	予め容器の質量の計量が必要です。	9
	③ 呼出 キーを使って登録している風袋値を設定できます。	予め容器の質量を計量し、登録しておく必要があります。	17
加算及び合計 合計回数及び合計質量を知りたいとき	① + キー及び 合計 キーで加算及び合計表示ができます。		11～14
	② シフト キーと 3自動 キーを使って自動加算、 合計 キーで合計表示ができます。		
表示固定 表示値を固定したいとき	表示固定 キーを使って、表示値を固定できます。		18
登録 風袋値やコード番号を内部メモリに登録したいとき	呼出 キーを使って、登録できます。		15～16

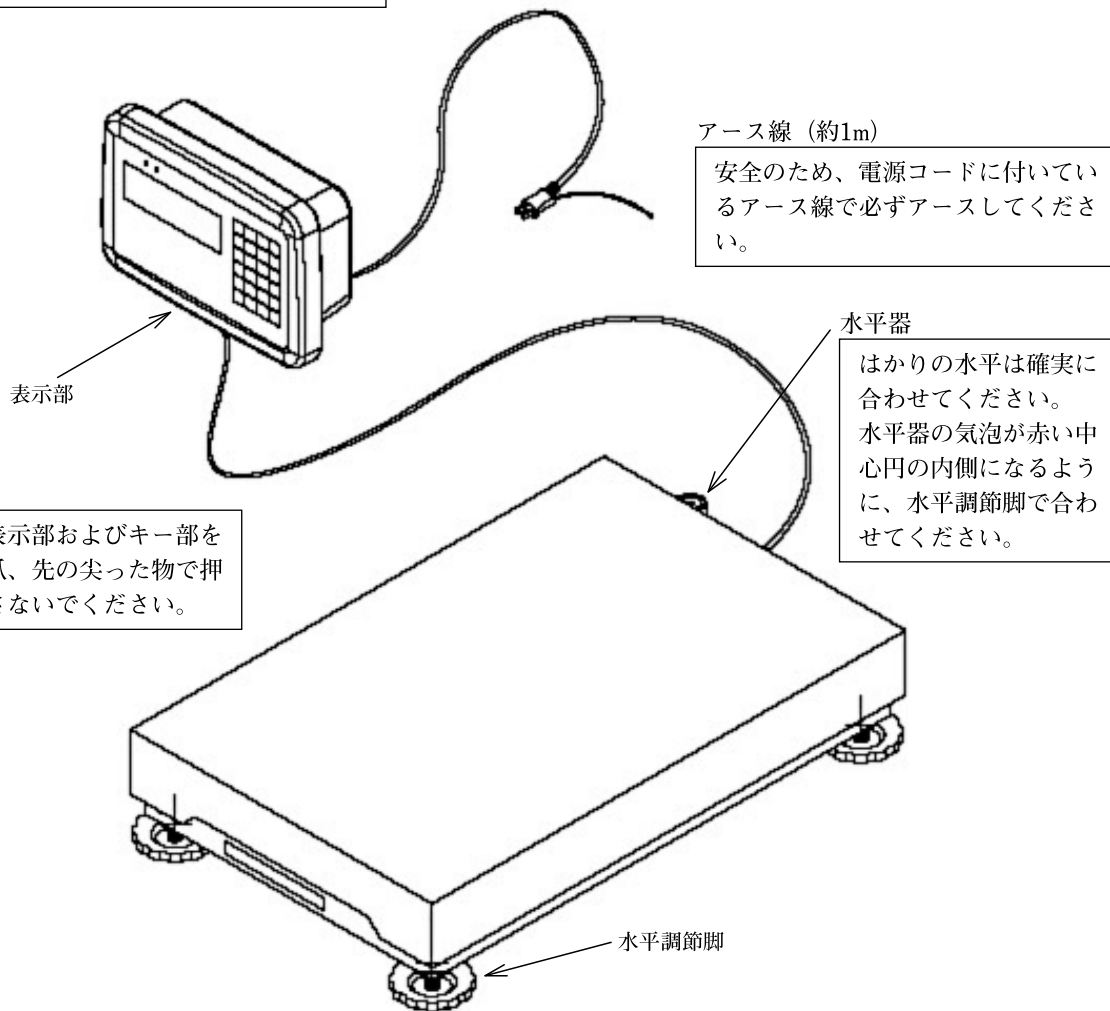
ご使用前の準備

☆以下の点にご注意いただき正しくお使いください。

はかりは直射日光の当たる場所や、冷暖房機等の風が直接当たる場所には置かないでください。

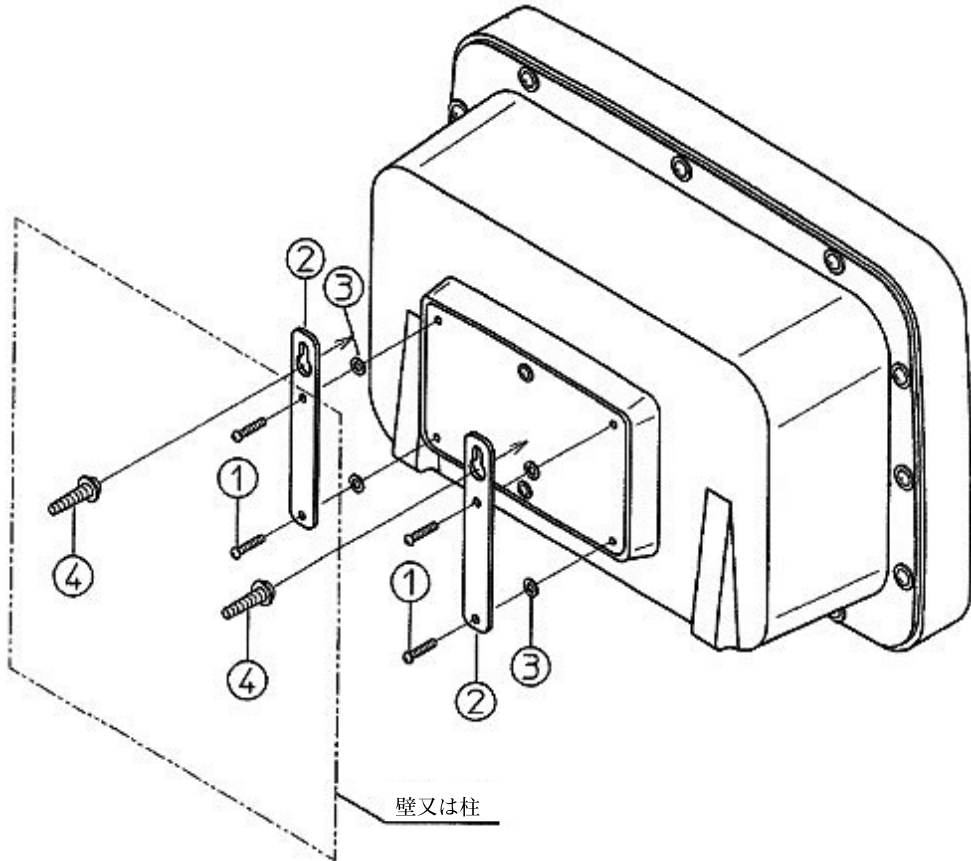
電源ケーブル (約4m)
AC100Vコンセント

電源コンセントを確実に接続してください。
使用電源は100V 50/60Hzです。



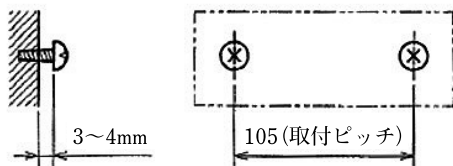
- はかりは丈夫な床の上に置いてください。
- 設置した際にガタツキがあるときは、水平調節脚で調整してください。
- はかりを振動が発生する器具類の近くには置かないでください。
- はかりの使用温度範囲は、 -10°C ～ $+40^{\circ}\text{C}$ の場所です。これ以外の場所では使用しないでください。
- 使用しないとき及び点検時は、電源プラグを抜いてください。

壁掛け用金具の取り付け方法



取り付け手順

1. まず初めに、指示計裏側両サイドの①止めねじ〈4本〉を外してください。付属の②壁掛け金具〈2枚〉を①止めねじ〈4本〉にて強く締め付けて取り付けてください。(③ワッシャ〈4個〉は指示計と②壁掛け金具〈2枚〉の間に必ず入れてください。)
2. ④木ねじ〈2本〉を壁又は柱に下図の様に取り付けてください。



3. 左記1.でセットされた②壁掛け金具〈2枚〉の上部穴に、左記2.でセットされた④木ねじ〈2本〉に引っかけてください。これでセット完了です。

〈注意〉

- ①止めねじ〈4本〉を一定の締め付けトルクで締め付けておきますので、防水・防塵性能 (IP66) 基準及び洗浄が容易に行え衛生的 (HACCP対応) には万全ですが、指示計壁掛けタイプの場合、一端①止めねじを外して②壁掛け金具を取り付けますので①止めねじの締め付け力が弱い時、また②壁掛け金具が外部に取り付けとなり〈IP66〉〈HACCP対応〉については保証しかねますのでご了解願います。

表示部及びキー操作部について

正味量 合計 質量 kg

0.0000

シフト

表示固定モード 表示固定中

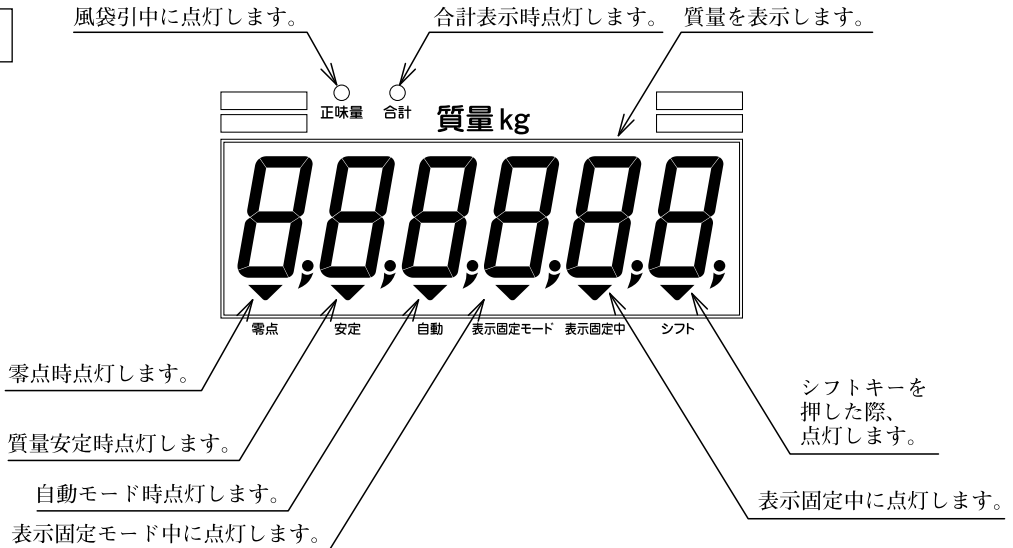
風袋	呼出	OFF	ON 零リセット
コート	合計	-	+
設定完了	表示固定		
7	8	9	0
4 年月日	5 時刻	6	消
1	2 紙送り	3 自動	シフト

ひょう量 kg 目量 kg 最小測定量 kg 最大風袋引量 T= kg

Yamato
DP-5601

又は、DP-5601D

表示部




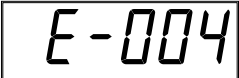




キー操作部


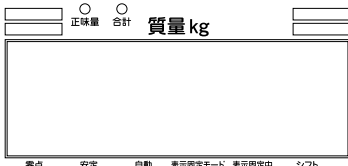
風袋	呼出	OFF	ON 零点リセット
コード	合計	-	+
設定完了	表示固定		
7	8	9	0
4 年月日	5 時刻	6	消
1	2 紙送り	3 自動	シフト

- ON**
零点リセット : 電源が入っていない時、電源をオンします。電源が入っている時は、零点をリセットします。
- OFF** : 電源をオフします。
- 呼出** : 登録データの呼び出しや、登録をします。
- 風袋** : ワンタッチ風袋引をします。
- +** : 手動加算します。
- : 加算した直前のデータを取り消します。
- 合計** : 加算した合計質量と合計回数を表示する際、使用します。
- コード** : コード番号を入力する表示へ切り替えます。
- 表示固定** : 計量値を表示固定するモードへ切り替えます。
- 設定完了** : 入力した設定値を確定します。
- 1** ~ **0** : 数字を入力します。
- 消** : 入力中の設定値をキャンセルします。(0にする。)
- シフト** : このキーを押した後、拡張キー (**2** 紙送り ~ **5** 時刻) が有効になります。
- 2**
紙送り : プリンタ接続時、紙送りします。
- 3**
自動 : 自動加算機能の切り替えをします。
- 4**
年月日 : 年月日を入力する表示へ切り替えます。
- 5**
時刻 : 時刻を入力する表示へ切り替えます。


計量の仕方

	操作手順	表示内容	備考
①	【表示オン】  キーを押してください。	全ての表示が点灯し、“0.00”表示となり、点灯時零点サインと安定サインが点灯します。 (表示例は、ひょう量30kg/目量0.01kgの場合です。)  はかりが安定していないときは、安定するまで全点灯表示を続けます。	全灯後、  の表示が出た場合は、23ページをご覧ください。 オプションプリンタ JPS-508を接続してお使いの場合で  の表示が出たとき、一度オフ、オンの操作をしてください。再度、同じ表示が出る場合、販売店へご相談ください。
②	【計量開始】 はかりの載台に計量物を載せてください。	計量物の質量を表示します。 (表示は計量物の質量が10.00kgの場合です。) 	計量物を載せた後、  という表示になった場合は、はかりの使用範囲を超えていますので、計量物を取り除いて使用範囲内で使用してください。

電源オフの仕方




	操作手順	表示内容	備考
①	【表示オフ】  キーを押してください。		本機は表示オフしても、待機電力を消費しています。長期間ご使用にならない場合、電源プラグをコンセントより抜いてください。

零点リセットの仕方

	操作手順	表示内容	備考
①	【ON 零点リセット】 キーを押してください。 ※零点をリセットし、“0.00”と表示します。		零点リセットが有効な範囲はひょう量の±1.9%以内です。

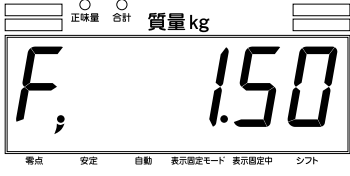

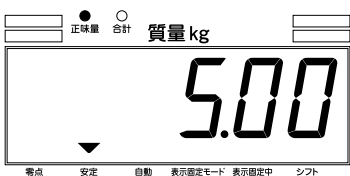
風袋引の仕方

1. ワンタッチ風袋引 …… 風袋 キーのみで行う、簡単な風袋引きの仕方です。



	操作手順	表示内容	備考
①	はかりの載台に容器を載せてください。	容器の質量を表示します。 (表示は容器の質量が1.00kgの場合です。) 	
②	表示値が安定しているとき 風袋 キーを押してください。		“0.00”を表示し、正味量ランプが点灯します。
③	【計量開始】 計量物を載せてください。		計量物の正味量を表示します。

2. 置数式風袋引 (風袋量が予めわかっている場合) …… 数字 キーと 設定完了 キーで行います。

《例》 風袋値を1.50kgに設定する場合



	操作手順	表示内容	備考
①	【風袋値入力】 1 5 0 の順に入力してください。		
②	設定完了 キーを押してください。		入力値を風袋引きして、正味量ランプが点灯します。
③	【計量開始】 計量物を載せてください。		計量物の正味量を表示します。

風袋引の取り消し方

	操作手順	表示内容	備考
①	容器を載台から取り除いてください。		風袋量がマイナスで表示されます。
②	風袋 キーを押してください。		“0.00”の表示をして、正味量ランプが消灯します。

コード番号入力の仕方

《例》コード番号“123456”を入力する場合







	操作手順	表示内容	備考												
①	コード キーを押してください。 (設定中の表示は点滅)														
②	【コード番号入力】 <table border="1" data-bbox="175 1074 502 1128"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>紙送り</td> <td>自動</td> <td>年月日</td> <td>時刻</td> <td></td> </tr> </table> の順に入力してください。	1	2	3	4	5	6		紙送り	自動	年月日	時刻			最大6桁まで入力できます。 入力を間違った場合は、 消 キーを押してから、再度番号を入力してください。
1	2	3	4	5	6										
	紙送り	自動	年月日	時刻											
③	設定完了 キーを押してください。														

加算の仕方





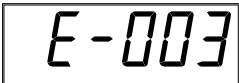
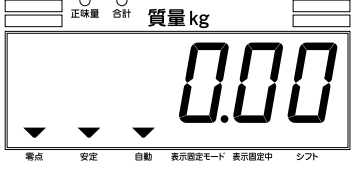
毎回の計量値をはかり内部メモリに加算し、合計回数や合計質量を確認したい時に使用してください。

1. 手動加算の仕方


プリンタ等を接続された時は、専用取扱説明書をご覧ください。

	操作手順	表示内容	備考
①	はかりの載台に計量物を載せてください。	 <p>正味量 合計 質量 kg</p> <p>10.00</p> <p>零点 安定 自動 表示設定モード 表示固定中 シフト</p>	計量物の質量を表示します。
②	<p>【加算】</p> <p>表示値が安定しているとき</p> <p>+ キーを押してください。</p> <p>※加算を取り消したい場合は、</p> <p>- キーを押して、減算処理を行ってください。</p> <p>(詳細は、13ページ参照)</p>	<p>表示はそのままです。</p>  <p>正味量 合計 質量 kg</p> <p>10.00</p> <p>零点 安定 自動 表示設定モード 表示固定中 シフト</p> <p>パラメータ番号035が0以外に設定されていれば、設定秒数SENDを表示します。</p>  <p>正味量 合計 質量 kg</p> <p>5End</p> <p>零点 安定 自動 表示設定モード 表示固定中 シフト</p>	<p>加算後、合計値が内部メモリ記憶容量を超えた場合は、エラー表示となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計回数オーバー  <ul style="list-style-type: none"> ・合計質量オーバー 
③	計量物をはかりから取り除いてください。	 <p>正味量 合計 質量 kg</p> <p>0.00</p> <p>零点 安定 自動 表示設定モード 表示固定中 シフト</p>	“0.00”表示に戻ります。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で1回の加算操作は終了です。 ・以後①～③の操作を繰り返す事により計量値が次々と内部メモリに加算されます。 		

2-1. 自動加算の仕方

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>シフト キーを押した後、</p> <p>3 自動 キーを押してください。</p>	 <p>質量 kg</p> <p>0.00</p> <p>零点 安定 自動 表示設定モード 表示設定中 シフト</p>	シフトサインが点灯した後、自動サインが点灯します。
②	<p>【加算】</p> <p>はかりの載台に計量物を載せてください。</p> <p>表示が安定すると自動的に加算されブザーがピッと鳴ります。</p> <p>※加算を取り消したい場合は、 - キーを押して、減算処理を行ってください。 (詳細は、13ページ参照)</p>	 <p>質量 kg</p> <p>10.00</p> <p>零点 安定 自動 表示設定モード 表示設定中 シフト</p> <p>パラメータ番号035が0以外に設定されていれば、設定秒間SEND表示します。</p>  <p>質量 kg</p> <p>5End</p> <p>零点 安定 自動 表示設定モード 表示設定中 シフト</p>	<p>加算後、合計値が内部メモリ記憶容量を超えた場合は、エラー表示となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計回数オーバー  <ul style="list-style-type: none"> ・合計質量オーバー 
③	計量物をはかりから取り除いてください。	 <p>質量 kg</p> <p>0.00</p> <p>零点 安定 自動 表示設定モード 表示設定中 シフト</p>	“0.00”表示に戻ります。
<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上で1回の自動加算操作は終了です。 ・以後②、③の操作を繰り返す事により計量値が次々と内部メモリに加算されます。自動加算のタイミングはパラメータ番号069により決定できます。 ※パラメータの変更に関しては、20ページの「ユーザパラメータの設定の仕方」を参照してください。 			

2-2. 手動加算への戻し方

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>シフト キーを押した後、</p> <p>3 自動 キーを押してください。</p>	 <p>質量 kg</p> <p>0.00</p> <p>零点 安定 自動 表示設定モード 表示設定中 シフト</p>	シフトサインが点灯した後、自動サインが消灯します。


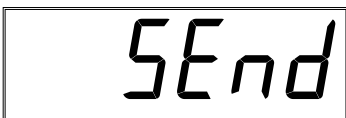
減算の仕方

はかり内部メモリに加算したデータを減算したい時に使用してください。
減算の仕方は2種類有り、パラメータ番号086の設定により選択することができます。
工場出荷時の設定値は“0”です。

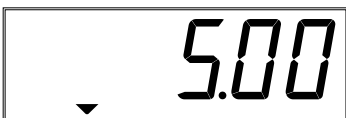

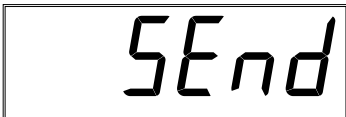

設定値	名 称	機能説明	備 考
0	直前減算	直前の加算データを減算します。	1回の減算に限る。
1	計量減算	載台に載っている質量を減算します。	複数回の減算が可能。

※パラメータの変更に関しては、20ページの「ユーザパラメータの設定の仕方」を参照してください。

1. 直前減算の仕方

	操 作 手 順	表 示 内 容	備 考
①	加算した後、 <input type="checkbox"/> - キーを押してください。	 ▼ ▼ パラメータ番号035が0以外に設定されていれば、設定秒数SENDを表示します。 	表示されている質量に関係なく、直前の加算データを減算します。

2. 計量減算の仕方

	操 作 手 順	表 示 内 容	備 考
①	加算した後、はかりの載台に減算したい計量物を載せてください。	 ▼	計量物の質量を表示します。
②	<input type="checkbox"/> - キーを押してください。	表示はそのままです。  ▼ パラメータ番号035が0以外に設定されていれば、設定秒数SENDを表示します。 	
③	計量物をはかりから取り除いてください。	 ▼ ▼	“0.00”表示に戻ります。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で1回の減算操作が終了です。 ・②、③の操作を繰り返す事により内部メモリのデータを続けて減算することも可能です。 		

注記：表示内容の例は、ひょう量30kg／目量0.01kgの場合です。

合計の仕方

加算された計量結果を合計質量、合計回数の順で確認できます。


《例》合計回数 5600回、合計質量値 140280.00kgの場合

	操作手順	表示内容	備考
①	合計 キーを押してください。		合計ランプが点灯し、合計質量の下位6桁分を表示します。 合計質量の最大は9桁です。
②	もう一度、 合計 キーを押してください。		合計質量の上位3桁分を表示します。
③	もう一度、 合計 合計キーを押してください。		合計回数を表示します。 合計回数の最大は4桁です。

加算を打ち切り、合計値をクリアする場合

加算を続行する場合

- 合計値のメモリを取り消す場合は、合計質量又は合計回数表示中に **消** キーを押してください。
- 合計質量、合計回数の全てがクリアされ、次の作業より加算は1回目から始まります。

④	合計 キーを押してください。		合計ランプが消灯し、計量表示へ戻ります。
⑤	加算操作を引き続き行ってください。		

登録の仕方

DP-5601 (D) は、風袋値、コード番号を呼出番号毎に単独又は一括にて記憶することができます。呼出番号は1～100番まであり、100種類分の記憶が可能です。

このデータは内部メモリに記憶していますので、はかりの電源を切っても消えることはありません。

日常頻繁に使用するデータを登録しておくことで、作業前の設定が簡単になり、作業効率が一段と向上します。


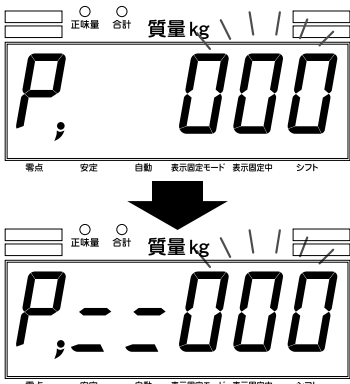

1. 一括登録の仕方 …… 風袋値、コード番号を一括してデータ登録する方法です。

《例》 風袋値1.50kg、コード番号123456を呼出番号70に登録する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	予め全てのデータを設定しておいてください。		データ設定後、はかりの載台に計量物が載っている場合は、下ろしてください。
②	呼出 キーを押し続けます。 (設定中の表示は点滅)		零点のとき（計量部に何も載っていないとき）のみキーが有効です。
③	合計 キーを押します。 (設定中の表示は点滅)		もう一度 合計 キーを押すと、単独登録（風袋値）に戻ります。
④	7 0 の順に入力してください。 (設定中の表示は点滅)		登録を中止したいときは、 消 キーを押し、呼出番号が“000”番と表示されたのを確認後、⑤に進んでください。 この時、エラーブザーが鳴って登録を中止します。
⑤	設定完了 キーを押してください。	①の表示（計量表示）へ戻ります。	

2. 単独登録の仕方 …… 風袋値、コード番号どちらか一方だけデータ登録する方法です。

《例》 風袋値1.50kgを呼出番号24番に登録する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	風袋値を設定してください。 ワンタッチ式、置数式のどちらで設定しても良い。		風袋値を設定後、はかりの載台に計量物が載っている場合は、下ろしてください。
②	呼出 キーを押し続けます。 (設定中の表示は点滅)		表示は、登録時の表示内容です。 零点のとき（計量部に何も載っていないとき）のみキーが有効です。
③	2 4 の順に入力してください。 紙送り 年月日		
④	設定完了 キーを押してください。	①の表示（計量表示）へ戻ります。	

《例》 コード番号123456を呼出番号24番に登録する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	コード キーを押してコード番号を入力します。 (設定中の表示は点滅)		
②	風袋値を登録する際の操作手順②～④を行ってください。		

一括登録と単独登録の違いについて

登録データは、呼出番号毎にメモリされています。購入時は、すべてゼロです。

《例》呼出番号70番に登録する場合

- ・一括登録：設定している全てのデータを記憶します。

<登録前>

呼出番号 : 70番
風袋値 : 0.00kg
コード番号 : 000000

一括登録

<登録後>

呼出番号 : 70番
風袋値 : 3.00kg
コード番号 : 123456

- ・単独登録：登録したい項目のみ記憶します。

<登録前>

呼出番号 : 70番
風袋値 : 0.00kg
コード番号 : 000000

風袋値 3.00kgを
単独登録

<登録後>

呼出番号 : 70番
風袋値 : 3.00kg
コード番号 : 000000

<登録後>のデータ更新

呼出番号 : 70番
風袋値 : 3.00kg
コード番号 : 123456

風袋値のみ登録
風袋値 5.00kgを単独登録

風袋値以外は上書きされない。

呼出番号 : 70番
風袋値 : 5.00kg
コード番号 : 123456

登録データの呼び出し方

《例》14ページで登録した呼出番号70番の登録データを呼び出す場合

	操作手順	表示内容	備考
①	呼出 キーを押してください。 (呼出中の表示は点滅)		零点のとき（計量部に何も載っていないとき）のみキーが有効です。
②	7 0 の順に入力してください。 (呼出中の表示は点滅)		登録データの呼び出し表示になります。
③	設定完了 キーを押してください。		

登録データのクリアの仕方

設定値を”0”にしてデータ登録を行うと、データがクリアされます。


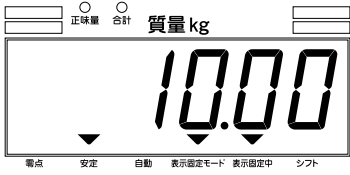
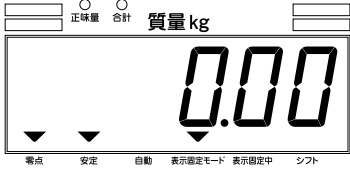
データ登録の仕方は、15～16ページと同様に、単独又は一括にて行ってください。

表示値の固定について

このはかりには計量物を載せた後、表示が安定するとその表示値を固定する機能があります。計量値の記録を必要とする作業時に特に便利な機能としてお使いいただけます。

表示固定機能設定の仕方

表示固定機能は取引証明の計量には使用しないでください。

	操作手順	表示内容	備考
①	表示固定 キーを押してください。		表示固定モードサインが点灯します。
②	はかりの載台に計量物を載せてください。		計量値が安定すると、安定サインと表示固定中サインが点灯します。表示固定中サインが点灯中は、他の計量物を追加しても表示値は変化しません。
③	計量物をはかりから取り除いてください。		表示値が“0.00”となり、表示固定中サインが消灯します。

表示固定機能解除の仕方

もう一度 **表示固定** キーを押してください。表示固定モードサインが消灯し、機能が解除されます。

オプション機能について

DP-5601 (D) は、日常の計量の効率アップの為、オプション機能も充実しております。作業状況に合わせ、下記オプション機能のご活用も宜しくお願い致します。

ジャーナルプリンタを接続すれば

指示計部背面に接続する一体型のプリンタは、場所をとらず操作性も向上し、印字内容も豊富です。また、指示計から離れたセパレート型プリンタもあります。詳細については専用取扱説明書をご覧ください。

RS232C入出力を利用すれば

各種データの入出力及び操作指令等が行えますので作業のシステム管理に役立ちます。詳細については専用取扱説明書をご覧ください。

ZBee無線通信を利用すれば

各種データの出力が行えますので作業のシステム管理に役立ちます。詳細については専用取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth™通信を利用すれば

各種データの出力が行えますので作業のシステム管理に役立ちます。
詳細については専用取扱説明書をご覧ください。

USBメモリを利用すれば

各種データをUSBメモリに記憶しますので、データ管理に役立ちます。
詳細については専用取扱説明書をご覧ください。

日付・時刻の設定の仕方

注記：内蔵時計を有していますので、1度設定されますと自動歩進します。

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>【日付設定】</p> <p>シフト キーを押した後 4 キーを押してください。 年月日</p> <p>例は、2010年3月1日を表示しています。</p>	 <p>質量 kg 10.03.01 1.</p> <p>正味量 合計 零点 安定 自動 表示設定モード 表示設定中 シフト</p> <p>(年の十の桁が点滅)</p>	<p>西暦で表示します。左から2桁ずつ、年、月、日の並びです。</p> <p>年号の設定は、西暦にて入力してください。</p>
②	<p>数字キーで年・月・日の順に入力してください。</p> <p>例 2010年9月21日に変更する場合 1 0 0 9 2 1 紙送り</p> <p>の順に入力してください。</p> <p>入力後、設定完了 キーを押すと、計量表示へ戻ります。</p>	 <p>質量 kg 10.09.21 1.</p> <p>正味量 合計 零点 安定 自動 表示設定モード 表示設定中 シフト</p> <hr/>  <p>質量 kg 0.00</p> <p>正味量 合計 零点 安定 自動 表示設定モード 表示設定中 シフト</p>	
③	<p>【時刻設定】</p> <p>シフト キーを押した後 5 キーを押してください。 時刻</p> <p>例は、8時20分を表示しています。</p>	 <p>質量 kg 08-20 .</p> <p>正味量 合計 零点 安定 自動 表示設定モード 表示設定中 シフト</p> <p>(時間の十の桁が点滅)</p>	<p>24時間制で表示します。左から時、分の並びです。</p> <p>時間の設定は、24時間制で入力してください。</p>
④	<p>数字キーで時・分の順に入力してください。</p> <p>例 13:30に変更する場合 1 3 3 0 自動 自動</p> <p>の順に入力してください。</p> <p>入力後、設定完了 キーを押すと、通常表示へ戻ります。</p>	 <p>質量 kg 13-30 .</p> <p>正味量 合計 零点 安定 自動 表示設定モード 表示設定中 シフト</p> <hr/>  <p>質量 kg 0.00</p> <p>正味量 合計 零点 安定 自動 表示設定モード 表示設定中 シフト</p>	

注意：長期放置（約1年 電源コードを挿さない状態）されますと自動充電式のバックアップ電池が空になり、日付・時刻データは消去されます。

ユーザパラメータの設定の仕方

DP-5601 (D) には、41個のユーザパラメータがあり、使用環境に応じて最適な動作をするように設定変更できます。変更する際は、次ページのユーザパラメータ表を参照してください。
 ≪例≫パラメータ番号007（非加算）を0から1に変更する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>風袋 キーを押しながら</p> <p>呼出 キーを押してください。</p>	 <p>(設定値が点滅)</p>	ユーザパラメータの設定モードを表示します。
②	<p>+ キーを押して、変更したいパラメータ番号を表示させてください。</p> <p>- キーを押すと、マイナス方向へ数値が変化します。</p>	 <p>(設定値が点滅)</p>	<p>+ キーを押し続けると押し続けている間、自動歩進します。(- キーも同様)</p>
③	<p>数字キーにて設定値を変更します。</p> <p>1 キーを押してください。</p>	 <p>(設定値が点滅)</p>	入力を間違えた場合、 消 キーで入力値をクリアして再度入力してください。
④	その他のパラメータを続けて設定する場合は、上記②～③を繰り返してください。	 <p>(設定値が点滅)</p>	
⑤	<p>設定完了 キーを押してください。</p> <p>計量表示へ戻ります。</p>		

ユーザパラメータ表

番号	名 称	標準値	機 能 説 明
001	表示管の輝度	2	0：最も暗い～4：最も明るい
002	ディマータイマー	10	00：ディマータイマー停止 01～60：使用しない時間が設定分続くと表示の輝度を最も暗い状態に自動的に変更します。
003	システム予約	0	標準値以外設定しないでください。
004	システム予約	0	標準値以外設定しないでください。
005	システム予約	0	標準値以外設定しないでください。
006	自動モード時の手動加算	0	0：自動モード時、 <input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/> キーは無効 1：自動モード時でも <input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/> キーは有効
007	非加算 (オプションのプリンタに対応します。)	0	0：累計する。 1：加算時のプリンタ印字・通信出力はするが累計はしない。 (<input type="button" value="合計"/> キーは働きません)
008	印字	1	0：一体型プリンタを使用しない。 1：一体型プリンタを使用する。(正味量のみ印字) 2：一体型プリンタを使用する。(総量、風袋量、正味量を印字) 3：設定しないでください。 4：過不足印字(番号068=1にすること)
009	印字項目 (オプションプリンタに対応します。)	3	0：コード番号、計量回数を印字しません。 1：コード番号を印字する。 2：計量回数を計量毎に印字する。 3：コード番号と計量回数を印字する。 4～7：設定しないでください。
010	日付印字 (オプションプリンタに対応します。)	2	0：時刻日付を印字しません。 1：時刻を計量毎に印字する。 2：日付を合計毎に印字する。 3：日付を合計毎に印字し、時刻を計量毎に印字する。 4又は6：日付を計量毎に印字する。 5又は7：日付、時刻を計量毎に印字する。
011	計量毎の自動紙送り量 (オプションプリンタに対応します。)	00	00：紙送りしない 01～20：毎回計量印字後、設定値分の行を紙送りする。
012	合計毎の自動紙送り量 (オプションプリンタに対応します。)	06	00：紙送りしない 01～20：毎回計量印字後、設定値分の行を紙送りする。
031	システム予約	00	標準値以外設定しないでください。
033	システム予約	000	標準値以外設定しないでください。
035	SEND (送信) 表示時間	1	0：加算時にSEND表示しない。 1～8：加算時に設定秒数SEND表示する。
053	システム予約	125	標準値以外設定しないでください。
054	システム予約	0	標準値以外設定しないでください。
055	システム予約	05	標準値以外設定しないでください。
056	システム予約	0	標準値以外設定しないでください。
058	自動電源オン	0	0：電源プラグ挿入時表示オンしない。 1：電源プラグ挿入時表示オンする。

ユーザパラメータ表




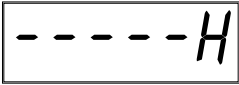










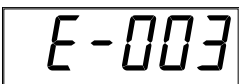




番号	名 称	標準値	機 能 説 明
059	電源オン時 呼出番号自動呼び出し	0	0：何も呼び出さない。 1：呼出番号1番を自動的に呼び出す。
060	電源オン時の加算モード	0	0：電源オン時、手動加算モード 1：電源オン時、自動加算モード
061	風袋自動キャンセル	0	0：風袋自動キャンセルしない 1：総量（グロス）4目量以下になると風袋値をクリア 2～3：設定しないでください。
062	分類集計・総合計機能 ※1	0	0：分類集計を使用しない。 1：分類集計を使用する。（番号059=1にすること） 2：総合計機能を使用する。 3：総合計・最大・最小・平均・範囲印字機能を使用する。
063	総量計算	0	0：内部カウントを質量変換 1：設定しないでください。
064	システム予約	0	標準値以外設定しないでください。
065	システム予約	000	標準値以外設定しないでください。
066	ワнтаイト加算	1	0：安定検出していれば、同じ質量を何度でも手動加算可能 1：零付近通過後、安定検出すると、1回だけ加算可能 2：設定しないでください。
067	遅延加算	00	00：遅延加算しない。 01～50：設定値×100ms後に安定検出して自動加算する。
068	ゼロ加算	0	0：表示がゼロ表示のときは、加算しない。 1：表示がゼロのときも、加算する。 ※ゼロと使用範囲下限～オーバースケールを印字可能な範囲とする。
069	モーションディテクション (自動加算のタイミング)	0	0：自動加算ゼロディテクション (手動加算はモーション) 1：自動加算モーションディテクション (手動加算もモーション) 2：自動加算ともゼロディテクション (手動加算もゼロ) ※ゼロディテクション…ゼロ付近通過後に加算 ※モーションディテクション…非安定→安定で加算
070	システム予約	00	標準値以外設定しないでください。
071	システム予約	00	標準値以外設定しないでください。
072	システム予約	0	標準値以外設定しないでください。
073	システム予約	0	標準値以外設定しないでください。
074	システム予約	1	標準値以外設定しないでください。
086	減算モード	0	0：直前の加算データを減算する。 1：載台に載っている質量を減算する。
092	ネガティブカウント	0	0：正味量が負の時は手動加算しない。 1：正味量が負の時のみ手動加算する。(自動加算不可) 2：正味量が正負関係なく手動加算する。(自動加算不可)
182	システム予約	000	標準値以外設定しないでください。
183	システム予約	000	標準値以外設定しないでください。
187	システム予約	0	標準値以外設定しないでください。

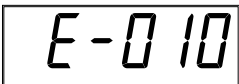
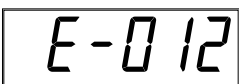
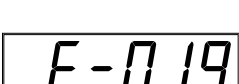
※1…プリンタ接続時のみ有効

分類集計機能：加算した値をそのときの呼出番号毎に分類して合計する機能

総合計機能： シフト キーと 合計 キーを同時に押すと、それまで計量した総累計を印字する機能

エラー表示について

表示内容	このような時表示されます	処置の仕方
	はかりの載台に品物を載せたまま  キーを押して、表示オンした時、表示することがあります。	載台上的の品物を取り除き、  キーを押してください。
	はかりの載台に品物を載せたまま  キーを押して、零点リセットした時、表示することがあります。	表示が“0.00”になり使用可能となります。
	はかりの載台とケースとの間に異物がはさまった状態や載台を取り除いた状態で、  キーを押して、表示オンした時、表示することがあります。	載台を正しく取り付けて  キーを押してください。 表示が“0.00”になり使用可能となります。
	はかりの載台を取り除いた状態で  キーを押して、零点リセットした時、表示することがあります。	
	使用中、はかりのひょう量を超える品物を載せた時、表示します。	品物を取り除きますと計量表示へ戻ります。 はかりの使用範囲内でご使用ください。
	使用中、はかりの載台を取り除いた時、表示します。	載台を正しく取り付けてください。 表示が“0.00”になり使用可能となります。
	加算回数が最大数9,999回に到達している状態で、加算を行った時、表示します。	 キーを押した後、14ページを参照して加算回数をクリアしてください。
	加算した際、加算値が最大数999,999,999をオーバーした時、表示します。	 キーを押した後、14ページを参照して加算値をクリアしてください。
	AD変換が正常に行われないうき、表示します。また、オプション ジャーナルプリンタ接続時、プリンタが紙詰まり等で正常に動作しなくなった時、表示します。	プリンタ部をチェックし、紙詰まり等がないか確認してください。  キー、  キーを押し、電源を入れ直してください。

表示内容	このような時表示されます	処置の仕方
	＜オプション RS232C使用時＞ 接続機器の受信準備ができていない時、表示します。	コネクタの接続を確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	＜オプション RS232C使用時＞ 認識できない指令を受信した時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	＜オプション RS232C使用時＞ 認識できないヘッダを受信した時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	＜オプション RS232C使用時＞ 風袋量等を受信した際、使用範囲を超えている時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	＜オプション RS232C使用時＞ 受信したヘッダとその数値の単位が間違っている時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	＜オプション RS232C使用時＞ BCCの値が一致しないとき、表示します。	接続機器のBCCの計算結果を確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	＜オプション RS232C使用時＞ 接続機器の送信データが多すぎる時、表示します。	接続機器の送信内容を2回に分けて送信するか、送信内容を減らしてください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	加算指令を受信したが、はかりが安定状態でない時、表示します。	 キーを押しエラーを解除し、はかりを安定させてから再度加算指令を送信してください。
	＜オプション RS232C使用時＞ 零点調整指令を受信した際、零点調整できない範囲の時、表示します。	零点調整可能な範囲（ひょう量の±1.9%以内）で指令を送信してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。

表示内容	このような時表示されます	処置の仕方
	<オプション RS232C使用時> 風袋引指令を受信した際、はかりが風袋引できない状態の時、表示します。	はかりの状態を確認の上、風袋引が可能な状態にした後、指令を送信してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C使用時> 加算指令を受信した際、はかりに計量物が載っていない時など、実行できない指令を受信した時、表示します。	はかりの状態を確認の上、指令受信が可能な状態にした後、指令を送信してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C使用時> 未定義のZS99コマンドを受信した時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C使用時> 送信データ長が長すぎた時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション プリンタ使用時> 分類集計時に、呼出番号が”0”になっている時、表示します。	 キーを押し、呼出番号を設定してから、計量を再開してください。
	<オプション USBメモリ使用時> 書き込むためのUSBメモリが未接続の時、表示します。	USBメモリが挿し込まれていることを確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション USBメモリ使用時> 書き込むためのUSBメモリの容量がいっぱいの時、表示します。	USBメモリの空き容量を確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション USBメモリ使用時> 書き込むためのUSBメモリの設定がリードのみの時、表示します。	USBメモリの設定がリード/ライトになっているか確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション USBメモリ使用時> USBメモリの書き込み時間が長すぎた時、表示します。	USBメモリに書き込むデータの内容を確認してください。  キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。

お願い はかりを正しく使用されますとエラー表示することはありません。
上記エラー表示をした場合には、“処置の仕方”に従い処置をお願いいたします。
上記処置を行っても異常な現象が出る場合は、はかり内部の異常ですのでご購入店へ連絡願います。
また、“E-101”より大きい数字のエラー表示が出た場合も、ご購入店へ連絡願います。

仕 様

- | | | |
|-------------|--------------------------------------|---------|
| 1. 型式 | : DP-5601/DP-5601D | |
| 計量部 | : BW-302/BW-302D | |
| | (アナログロードセルに限り、他にコンポーネントシリーズ本体部も接続可能) | |
| 指示計 | : EDI-561/EDI-561D | |
| 2. 計量方式 | : 電気抵抗線式 | |
| 3. ひょう量系列 | : 3 kg~2,000kg | |
| 載台寸法 | : 外観寸法図参照 | |
| 4. 表示部 質量表示 | : 蛍光表示管 (7セグメント・6桁) | |
| 文字寸法 | : 32 (H) ×14.6 (W) mm | |
| 5. 表示内容 | | |
| 質量値 | : 最大5桁 | |
| コード番号 | : 6桁 各設定表示時 | |
| 日付 | : 6桁 各設定表示時 | |
| 時刻 | : 4桁 各設定表示時 | |
| 風袋値 | : 最大5桁 各設定表示時 | |
| 合計質量 | : 9桁 合計表示時 (上位3桁は切替表示) | |
| 合計回数 | : 4桁 合計表示時 | |
| 6. サイン表示 | | |
| 点灯時零点 | : 0 ±1/4日量以内の時点灯 | (▼) |
| 安 定 | : 計量安定時点灯 | (▼) |
| 自 動 | : 自動モード時点灯 | (▼) |
| 表示固定モード | : 表示固定モード時点灯 | (▼) |
| 表示固定中 | : 表示固定中点灯 | (▼) |
| シフト | : シフトキー選択時点灯 | (▼) |
| ランプ表示 | | |
| 正 味 量 | : 風袋引中点灯 | LED赤ランプ |
| 合 計 | : 合計表示中点灯 | LED赤ランプ |
| 7. 操作部 | | |
| ON/零点リセット | : 表示オン、零点リセット用 | |
| OFF | : 表示オフ用 | |
| 呼出 | : 登録データの呼出、登録用 | |
| 風袋 | : 風袋引用 | |
| + | : 計量値の手動加算、および印字用 | |
| - | : 計量値の減算、および印字用 | |
| 合計 | : 合計表示切替用、または合計印字用 | |
| | ジャーナルプリンタやRS232C (RS485) 出力付きのとき合計表示 | |
| | へ切り替わりません。 | |
| コード | : コード番号設定用 | |
| 表示固定 | : 表示固定モード切替用 | |
| 設定完了 | : 各設定値の設定完了用 | |
| 0~9 | : 各種設定値入力用 | |
| 消 | : 各種設定値のクリア、風袋引クリア用 | |
| シフト | : 2~5キーの拡張機能選択用 | |
| 年月日 | : 日付設定用 (シフトキー併用) | |
| 時刻 | : 時刻設定用 (シフトキー併用) | |
| 紙送り | : プリンタの紙送り用 (シフトキー併用) | |
| 自動 | : 自動モード、手動モード切替用 (シフトキー併用) | |
| 8. 風袋引き | : 下記の3種類の風袋引ができます。 | |
| | ワンタッチ風袋引、数字キーによる置数式、 | |
| | 呼出キーによるプリセット式 | |
| 有効範囲 | : ひょう量以内 | |

9. 登録データ呼出 (最大100件) : 表示値が零点以下のとき、各登録データを呼出して、風袋値やコード番号を設定します。
 登録方法 : 単独登録、一括登録の2種類の方法が可能です。
 登録できるデータ : 風袋値、コード番号
10. 工場オプション
- a) 一体型プリンタ : 専用ジャーナルプリンタ (JPS-508) 指示計背面への取付、上部排紙
 印字内容 (毎回) : 質量値 (5桁)
 コード番号 (6桁)
 回数 (4桁)
 日付 (6桁)
 時刻 (4桁)
 (合計印字) : 合計質量 (9桁)、合計回数 (4桁)
- b) セパレート型プリンタ : 専用ジャーナルプリンタ TPS-503W、MP-190 (複写可)
 印字内容 : 一体型プリンタと同じ
- c) RS232C : 入出力機能によりシステム対応
 接続機器 : ラベルプリンタSP-509XⅡ、SP-510X
 USBメモリ、大型表示器、パソコン等
 出力データ : 日付、コード番号、総量、正味量、風袋量、合計質量、加算回数
 入力データ : 加算指令、合計指令、風袋引指令、零点リセット指令、コード番号、日付、風袋値
- d) ZBee無線通信 : 出力機能によりシステム対応
- e) Bluetooth™通信 : 出力機能によりシステム対応
 出力データ : RS232Cの出力データと同じ
- f) 分類集計機能 : 登録データの設定により、100種類の分類集計ができます。
 オプションプリンタへ集計結果を出力します。
11. 電源 : AC100V +10%~-15% 50/60Hz
 約23W
12. 表示部ケース : SUS製
 防塵、防水構造 (IP66準拠品) プリンタ部は除きます。
13. 使用条件
 温度範囲 : -10℃~+40℃
 湿度範囲 : 30%~85%RH (結露なきこと)
14. 適用法規 : 日本国計量法新検則 (JIS B7611-2 : 2009 Lレベル)
15. ケーブル
 電源ケーブル : 約4m
 ロードセルケーブル : 約3m (小型、中型)、約5m (大型、特大型)

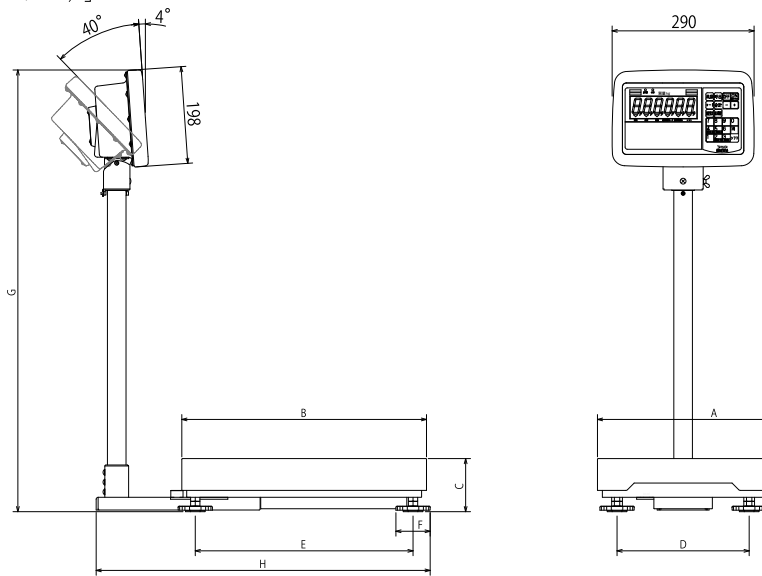
外觀寸法図

各部寸法 (単位: mm)

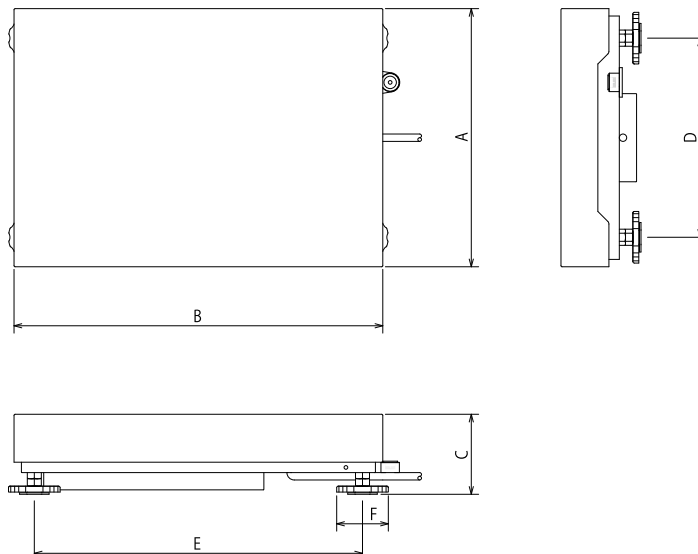
	卓上型	小型	中型	特殊中型	大型	特大型	特大型 (W)
A	350	350	500	500	850	1200	1800
B	300	500	750	750	1000	1200	1200
C	80 ⁺¹⁰ ₀	112 ⁺²⁰ ₀	148 ⁺²⁰ ₀	236 ⁺³⁰ ₀	236 ⁺⁵⁰ ₀	246 ⁺⁵⁰ ₀	246 ⁺⁵⁰ ₀
D	270	270	400	400	720	1070	1660
E	305	445	660	660	855	1070	1070
F	φ 38	φ 70	φ 70	φ 75	φ 75	φ 75	φ 75
G (一体型のみ)	556 ⁺¹⁰ ₀	906 ⁺²⁰ ₀	910 ⁺²⁰ ₀	936 ⁺³⁰ ₀	936 ⁺⁵⁰ ₀	—	—
H (一体型のみ)	370	683	896	895	1145	—	—

※卓上型は一体型が標準仕様です。

[一体型 (オプション)]



[セパレート型 (標準)]



信頼・技術・創造



大和製衡株式会社

本社営業	〒673-8688	兵庫県明石市茶園場町5番22号	TEL.078-918-6540
東日本支店	〒105-0013	東京都港区浜松町1丁目22番5号	TEL.03-5776-3123
中日本支店	〒460-0008	名古屋市中区栄5丁目27番14号	TEL.052-238-5731
千葉営業所	〒264-0025	千葉県若葉区都賀4丁目8番18号	TEL.043-214-3920
九州営業所	〒812-0018	福岡市博多区住吉4丁目3番2号	TEL.092-471-1921
		浜松町センタービル4階	
		朝日生命名古屋栄ビル5階	
		ショー・エム都賀1階	
		博多エイトビル1階	